

ごみ減量の心得

**大量生産・大量消費はもつたいない！
循環型社会をつくろう**

現在、私たちの生活は、便利でものに満ちあふれています。そして、その陰で大量のエネルギーも使われています。

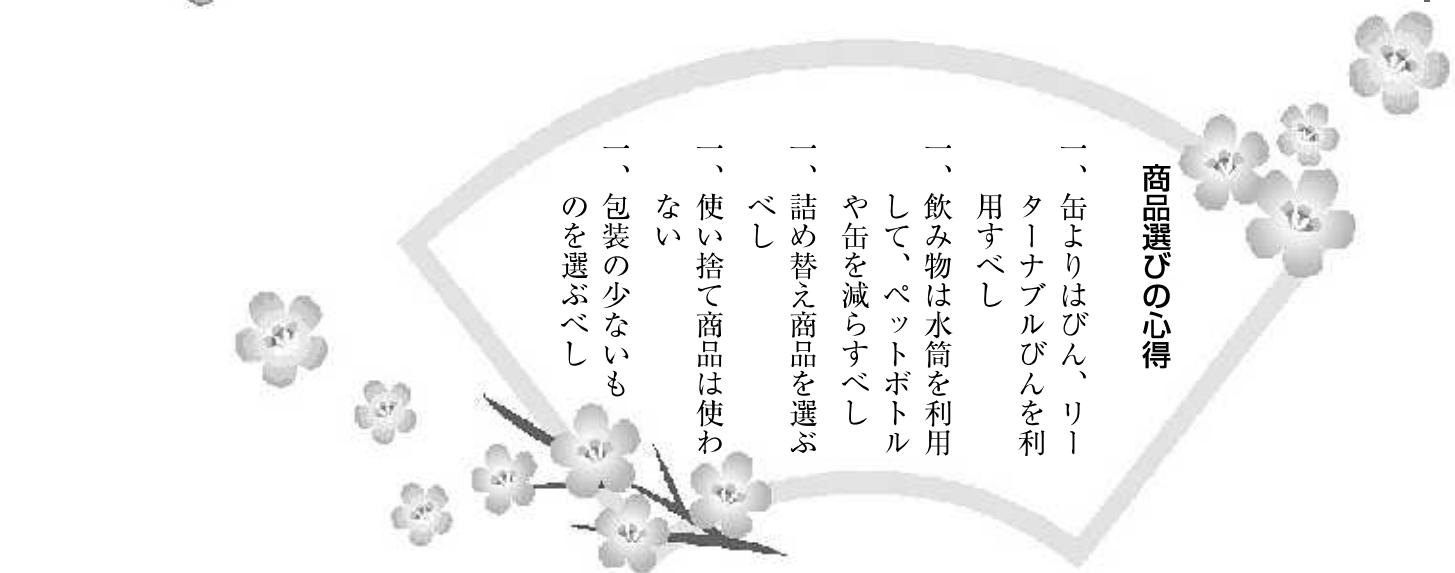
ものや便利さと引き替えに、大量の資源を消費し地球環境の劣化を進めていることは分かっていても、今の生活を急に変えることはなかなか難しいものです。ですから日常の身近なことから少しづつ、はじめてみましょう。

これから的生活には、ものを大切にし、限りある資源を有効に使い、リサイクルする循環型社会の形成が必要不可欠なのです。



商品選びの心得

- 一、缶よりはびん、リサイクルびんを利
- 用すべし
- 一、飲み物は水筒を利用して、ペットボトルや缶を減らすべし
- 一、詰め替え商品を選ぶべし
- 一、使い捨て商品は使わない



お問い合わせ
税務住民課住民生活グループ
☎ 4-2511内線135

リサイクルは地球にも
埋立地にも
財布にもやさしい！



町で回収した埋立ごみの中に、缶、ビン、ペットボトル、その他プラスチックなどを目にすることがあります。洗つて分別して資源物として出せば有料袋を買わないので済むし、その分埋立地が長く使え、何より、大切な地球資源を守ることができます。

埋立ごみを減らすうえでもっとも大切なことは、資源物をしっかりと分別すること。面倒がらずに実践することがリサイクルの輪をつなぐための第一歩です。

調理の心得

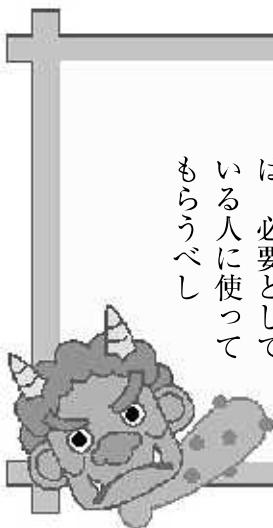
- 一、食べ切れる分だけつく
るべし
- 一、賞味期限切れを防ぐべ
し
- 一、食材は使い切るべし
- 一、残ったおかずはすぐ冷
凍すべし

- 一、キッチンペーパーなど
は極力使わない
- 一、生ごみはコンポスト
容器や生ごみ処理
機を利用すべし



使用の心得

- 一、家電製品は修理して
長く使うべし
- 一、古くなつた家具はリ
メイクして使うべし
- 一、必要のないもの
は、必要として
いる人に使って
もらうべし



今あるものを出来る限り利用する

これが、ものにも資源にも
一番やさしい行動ではないで
しょうか。最後の最後まで利
用することが、資源に対する
恩返しなのです。



過剰包装は過剰サービス



ごみ減らしをしていると、その他
プラスチック類がなかなか減らなく
て悩むことがあります。つめか
え商品を利用したり、量り売りの店
で買い物をしてもなかなか減らないときは、過剰包
装の影響が考えられます。

たとえばかつお節のパック。1回分くらいが1パッ
クになっているものがありますが、大袋に入ったもの
の方がごみが少なくてすみます。クッキーやせんべい
も1つ1つ包装されていないほうがごみも少ないはず
です。

つまり、メーカーの過剰なサービスが過剰包装を生
み出し、結果としてごみを増やしているのです。過剰
包装も過剰サービスも全部なくして、その分価格が安
くなった方がよいと思うのですが、皆さんはどう思
いますか？

「ありがとう」と「もつたいない」の気持ち

着られなくなつた服、はき古した靴、壊れた電化製品など、どれも廃棄物処理場にごみとして捨てられていきます。

一軒一軒の家から出されたごみは、集まるごとに膨大な量となつて廃棄物処理場に運ばれています。ごみとは、もともと地球の大好きな資源からつくられ、皆さんと生活をともにしたもののです。「もつたない」の気持ちで長く大切に使い、捨てるときは「ありがとう」の気持ちで送り出しましょう。